

# 带状疱疹について

带状疱疹は、水痘（水ぼうそう）を起こす水痘带状疱疹ウイルスが原因で起こる感染症です。水ぼうそうにかかった人の体内に潜伏していたウイルスが、疲労やストレス等による免疫力の低下をきっかけに再び活性化することで带状疱疹を発症します。

水ぼうそうにかかったことがある人の約30%が生涯に一度は带状疱疹を発症するといわれています。

## 原因

带状疱疹の原因となる水痘带状疱疹ウイルスは、主に水ぼうそうの患者のせきやくしゃみのしぶき、水疱（水ぶくれ）の排出物との接触で感染し、初感染では水ぼうそうを発症させます。

一度感染するとウイルスは生涯にわたって体内に潜伏し、免疫力の低下等をきっかけに活性化して带状疱疹を発症させます。

加齢は特に重要な発症原因の一つで、50歳以上では発症頻度が上がると言われています。

## 症状・合併症

初期症状は体の左右どちらか一方の皮膚のピリピリ感・痛みで、数日後には発疹が現れます。発疹は徐々に広がって水疱（水ぶくれ）に変化し、やがて破れてかさぶたになります。皮膚が元に戻るまでに約1か月を要します。

また、患者の約20%には、発疹がなくなった後も痛みが残る「带状疱疹後神経痛」が現れます。痛みは数か月から数年間持続し、日常生活に支障を来すことがあります。

## 治療

抗ウイルス薬を投与することで、痛みの期間の短縮、発疹の発生の抑制、皮膚症状の治癒を促す効果が得られます。治療効果を高めるためには発症後速やかに治療を始める必要がありますので、発疹（右写真）等の症状が現れたら早めに医療機関を受診しましょう。



提供：愛知医科大学

## 予防

免疫力が低下しないよう、バランスの取れた食事や十分な睡眠を取り、趣味の時間を持つなどして、ストレスの少ない生活を送ることを心掛けましょう。

また、50歳以上の方は、ワクチンを接種することで発症予防効果が得られます。

ただし、ワクチンは発症を完全に防げるものではなく、身体状態によっては接種ができない、あるいは、注意を要する人もいますので、医療機関と相談し、接種するかを判断してください。

接種費用は原則自己負担ですが、接種費用を助成している自治体もありますので、お住いの自治体の広報・ホームページ等をご確認ください。

令和5年3月

愛知県感染症対策局感染症対策課